



晃陽

第8号

～生徒が安心して力を発揮できる学校～

＜目指す生徒像＞

- たしかな学力をもつ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- 強い体力・気力をもつ生徒

晃陽は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

学校だより 令和2年12月8日

宇都宮市立晃陽中学校長 大島 誠



大成功！校内スポーツ大会



11月21日（土）市内中学校の土曜授業日に、校内スポーツ大会を実施しました。年度当初は持久走大会を行う計画でしたが、コロナ禍で体育祭が実施できなかったことから、生徒が楽しめる行事を持ちたいという意見が多くの方から出て、体育科教員と保体委員が今回の行事を企画してくれました。持久走は、事前の体育の授業で行い点数化して、当日は、男子はサッカー・女子はバレーボール、ドッジボールは男女で、大縄は全クラス対抗で実施しました。生徒みんなが笑顔で、クラスの友人を応援する姿、そしてクラスの勝利のために頑張る姿がとても清々しく感じました。

総合優勝は3年1組、準優勝は2年2組、3位は3年2組でした。



避難訓練



11月26日（木）中間テスト終了後に避難訓練を実施しました。本年度初めての避難訓練で、「避難経路の確認」が目的でした。避難開始から整列完了・人員確認まで約3分間と、素早く落ち着いて行動することができました。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われています。南海トラフ大地震や首都直下型地震が起こる可能性があると言われています。万が一の時、冷静に行動できるよう心の準備をしておきましょう。



冒険活動教室

コロナ禍で延期となっていた1年生の冒険活動教室が、11月27日(金)に日帰りで実施されました。午前中が登山、午後は1組が基地づくり、2組はマウンテンバイクを楽しみました。レストランの食事もおいしかったようで、みんな笑顔で楽しく過ごすことができました。



地域協議会

11月22日(日)、サポート会(地域協議会)の有志の方にお集まりいただき、校庭等の除草剤散布が行われました。今年度は、休校や部活動中止の時期が長く続いたこともあり、敷地内の雑草を十分に取れませんでした。来年度は計画的に除草等を行い、よりよい環境にしていきたいと思えます。サポート会の皆様ありがとうございました。



剣道部代替試合

剣道部の新人戦代替試合が11月28日(土)に、2022年「いちご一会栃木国体」のため建設された真新しい県武道館で行われました。部員たちはきびきびした動きで、次々に一本を取っていました。男子団体は、見事3位に入賞しました。来年度の活躍が楽しみです。



生徒会役員・専門委員長任命



12月7日の生徒朝会において、テレビ放送により生徒会の新役員・新専門委員長を次のように任命しました。これからは、2年生が中心となって晃陽中学校の生徒会を動かしていきます。全校生徒の協力をよろしくお願いします。

- ・会 長 阿部将大
- ・副会長 小林央瀬 高木仁司
- ・書 記 金田和奈 村田月華
- ・会 計 手塚広昭 高橋優斗

- ・図書学芸委員長 三浦航太
- ・保健体育委員長 和田部花歩
- ・給食委員長 岩下颯良
- ・美化緑化委員長 川村董哉
- ・広報委員長 上吉原日葵



「まさか」に心が乱れるとき ニューモラル 10月号

人生の途上で直面する、思いがけない出来事—そこには、よいことも悪いこともあるでしょう。よい出来事であれば喜ばしいことですが、うれしくない出来事も起こるのが人生です。

それが自分の過失によって起こった問題であれば、「次から気をつけよう」という反省もできるでしょうし、改善の糸口もつかみやすいかもしれません。ところが、時には「まさかの不運」としか思えないような出来事も起こります。また、事態の収束が容易ではなく、長く苦しまなければならない場面もあるのではないのでしょうか。

そんなときは、「なぜ自分がこんな目に遭わなければならないのか」と嘆いたり、自暴自棄に陥ったりするかもしれません。「こんなことになったのは、あの人のせいだ」「置かれた環境が悪いからだ」というように、自分以外の何者かに責任を求めたくなることもあるでしょう。しかし、そうしたことを考えれば考えるほど不満が募り、心が重くなっていきます。また、怒りに任せて他人に非難や攻撃を加えたりすれば、事態をますます悪化させることにもなりかねません。

いずれにしても、私たちは時間をさかのぼって人生をやり直すことはできません。そして、この境遇を誰かに代わってもらうこともできないのです。自分の身に降りかかる出来事をどのように受けとめて、心をもどのように治めていくかということは、私たち1人ひとりに問われる大きな課題ではないのでしょうか。

